

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 25 日現在

機関番号：33104

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20520257

研究課題名（和文）第一次～第二次世界大戦下、イギリスの大衆文学に見る女性の市民意識とキャリアの表象

研究課題名（英文）An Analysis on the Representation of the Women, Their Citizenship and Career during the World War I-II

研究代表者

杉村 使乃（SUGIMURA SHINO）

敬和学園大学・人文学部・准教授

研究者番号：20329337

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：英米・英語圏文学

キーワード：英文学、戦争、女性、ジェンダー、市民、キャリア

1. 研究計画の概要

第一次世界大戦時～第二次世界大戦時の若い女性向けの雑誌の中から主要なものを選び、作品の一覧を作成し、テーマの傾向を外観する。その中から、特に「市民意識」、「キャリア」を意識したものを抽出し、精読、分析する。雑誌は主に、第一次世界大戦前から多くの読者を集めていた *Girl's Own Paper*、を扱う。また当時の女性のキャリア、戦時活動についての実態を知るため関連資料、写真週刊誌 *Picture Post: Hulton's National Weekly* の該当する期間に関して閲覧、分析する。

2. 研究の進捗状況

以上の資料については、主に敬和学園大学、梅花女子大学、中央大学、ロンドンのブリテイッシュ・ライブラリー、帝国戦争博物館（Imperial War Museum）にて閲覧し、適宜、コピーまたはパソコンによる入力などで必要箇所の収集を行い、ある程度まとまった量の資料を集めることができた。また *Picture Post: Hulton's National Weekly* に関しては、特に当時の女性の実態、またその表象に関する分析を進め、研究成果を報告している。

3. 現在までの達成度

③おおむね順調に進展している。

（理由）

H20～22年度において、上記の女性向け雑誌の閲覧、収集を行った。当初、他にも収集を予定していた雑誌などがあったが、時代が古く、まとまった冊数を閲覧できる図書館も限られているため、主に *Girl's Own Paper*、そして *Picture Post: Hulton's National*

Weekly に絞り、資料収集、分析を進めている。前者についての精読・分析の一部はすでにH22年度日本英文学で発表したが、更なる研究成果を本年度進める必要がある。当時の女性たちがジャーナリズムでどのように表象されていたのかを考えるため、写真週刊誌 *Picture Post: Hulton's National Weekly* の該当する期間に関して閲覧、分析し、ある程度まとまった研究成果を『敬和学園大学人文社会科学研究所年報』で発表した。

4. 今後の研究の推進方策

収集した資料の分析を早急に進め、分析した結果について論文にまとめ研究成果を報告する。また、資料に関するデータや分析結果をウェブサイトなどで公開し、広く関連分野で使用可能な状態にしたいと考えている。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計3件）

①杉村使乃、「『ガールズ・OWN・ペーパー』に見る第二次世界大戦下のイギリス女性像」、『日本英文学会 第82回大会 Proceedings』、査読無、2010、pp. 95-97

②杉村使乃、「写真週刊誌『ピクチャー・ポスト』に見る第二次世界大戦のイギリス女性表象再考：制服の女性たちを中心に」、『敬和学園大学人文社会科学研究所年報』、査読無、8号、2010、pp. 57-75

③ 杉村使乃、「写真週刊誌『ピクチャー・ポスト』における「味方」と「敵」—英独の「空襲」の表象—、『敬和学園大学人文社会科学研究所年報』、査読無、7号、2009、pp. 83-113

〔学会発表〕（計 1 件）

① 杉村使乃、『ガールズ・OWN・ペーパー』に見る第二次世界大戦下のイギリス女性像」日本英文学会第 82 回大会、2010 年 5 月 20 日、於 神戸大学

〔その他〕

なし